



諫高だより

ふじ
藤 紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

『 君の可能性 』

教頭 大久保 眞明

諫高のある日の3日間

1月16、17日の両日、長崎大学を会場に、諫高第62回生が平成22年度大学入試センター試験に挑んだ。その前日15日昼休み、1、2年生が合同で3年生激励会を企画し、見事に盛り上げてくれた。16日には、早朝にもかかわらず、ほとんど全員の1、2年生が集まった。そして、大きな声援と共にセンター試験に出発する3年生を送り出し、その後土曜学習会に臨んだ。2日目の17日にも部活動生が主体となって送り出した。これこそが正に「チーム諫高」の具現化であり、諫高生らしさを十分に発揮してくれるものであった。3年生は大きな力を得たであろうし、自分の中の可能性を引き出す刺激ともなったに違いない。一方、送り出した1、2年生も2年後・1年後の自分の姿を思い浮かべ、進路希望実現のために今何をしなければならないかを自覚したことであろう。

また、16日午後テニスコートでは、諫早家御屋敷跡の発掘説明会が一般市民ら約50名の参加のもと行われた。発掘体験のなか、瓦や焼き物のかけらなど鎌倉時代から江戸時代にかけての多くの遺物が出土した。

更に17日、京都では都道府県対抗女子駅伝が行われ、諫高生徒・卒業生4名が走った長崎県チームが見事な走りで6位入賞を果たしてくれた。

素直さとは

「学ぶ」とは、元来「まねぶ」（真似る）と同源の語であり、教えを受けて習うことである。まねることは、それ自体悪いことではない。しかし、ただ写すだけならば、それは犯罪に等しいこともある。優れた仕事をしている人も、確かに真似ることから始めている。他のものの中から、良いものを選び取って、自分を太らせ、新しい自分をつくり出しているようである。

ただ、新しい自分をつくり出すためには、素直さが不可欠である。素直さがないと人間は固定してしまい、自分の殻を壊すことができず、自分を新しく成長させていくことができなくなってしまうからだ。諫高生は素直だと、よくほめられる。その素直さがもたら素晴らしい力を、君たち諫高生から凝縮して見せてもらった3日間だった。

今こそ可能性の発掘を

今は世の中が、大変激しい変わり方をしている時代である。おそらく日本の歴史のなかでも、驚くほど大きな転換をした時代であるといえるだろう。しかし、このような時代だからこそ、それぞれの人間が持っている可能性を豊かに出していかねばならない。センター試験会場での第62回生の姿は正にその実践であった。服装、カバン、そして教員と向き合うときの笑顔・・・他校とは明らかに違っていた。学習だけでなく部活動をはじめ様々な活動に人間関係の構築を絡ませる「文武両道」を校是に掲げる諫早高校。

この教育方針はこれからも継続すべきことだと、年間20校を超える学校訪問に対応し、訪問者の驚きを見てきた私は確信している。君の可能性はまだまだ発掘できる。今までも引き出してきたし、これからも引き出していくのが諫高の力である。君も諫高で諸活動に精一杯取り組み、最後まで諦めることなく、全力で自己目標の実現を目指して、夢を掴もうではないか。



激励を受け会場に向かう受験生
(長崎大学にて)



全国高校駅伝報告会

2009 全国高校駅伝 (12/20 西京極陸上競技場)



男子16位 (昨年20位)

女子6位入賞 (昨年8位入賞)

男子成績(2時間7分45秒)

区間	氏名	区間順位	時間	通過順位
1区(10km)	林 慎吾(2年)	27位	30分36秒	27位
2区(3km)	的野 遼大(2年)	4位	8分28秒	24位
3区(8.1km)	寺田 夏生(3年)	30位	24分57秒	25位
4区(8.1km)	松本 拓也(3年)	6位	24分00秒	17位
5区(3km)	松尾 郁哉(3年)	22位	9分04秒	17位
6区(5km)	宇戸 勇人(2年)	21位	15分29秒	17位
7区(5km)	茅原 祐也(3年)	15位	15分11秒	16位

男子10年連続出場表彰



表彰を受ける石部校長



女子成績(1時間10分0秒)

区間	氏名	区間順位	時間	通過順位
1区(6km)	末吉 茜(3年)	3位	19分54秒	3位
2区(4.1km)	森 智香子(2年)	9位	13分14秒	4位
3区(3km)	松本 千尋(3年)	8位	10分04秒	6位
4区(3km)	山本 芽依(1年)	5位	9分51秒	6位
5区(5km)	山崎 唯(2年)	11位	16分57秒	6位

12月20日(日)に京都の西京極陸上競技場で行われた全国高校駅伝では、男子16位・女子6位入賞と昨年の成績(男子20位・女子8位入賞)を上回る結果を出すことができました。特に両主将の活躍は眼を見張るものがありました。男子主将の4区を走った松本拓也君は8人抜きを、女子主将の1区を走った末吉茜さんは3位で2区に襷を渡すなど、本校の伝統の走りを見事に全国の舞台で発揮してくれました。また、大会前日に行われた開会式では、男子は10年連続出場の表彰を受けました。

2学年修学旅行

平成21年12月9日(水)～13日(日)、第2学年生徒・職員322名は、4泊5日の修学旅行を実施しました。研修場所は関東・関西地区で、初日から2日目までは、普通科は都内の企業研修を理数科は筑波の企業研究室研修を実施しました。2日目の午後のディズニーランドからは普通科と理数科が合流して、最終日まで研修を続けました。5日間天候にも恵まれ大変有意義な研修をすることができました。



浅草寺 ディズニーランド 筑波宇宙センター 新幹線内 国会議事堂 東大寺



嵐山 清水寺 奈良公園 ホテルの夕食

旧諫早家屋敷跡発掘調査



諫早家 家紋(昇り藤)

平成22年1月6日(水)、平成23年度にスタートする県立諫早高校附属中学校の新校舎建設予定地で、現在実施されている旧諫早家屋敷跡発掘調査において、本校生徒9名が発掘調査の体験学習をしました。



発掘調査の事前説明を受ける生徒 発掘作業をする生徒

第2学年保護者会



講演中の古川恭子先生(左)と田中博明先生(右)

平成21年12月1日(火)、諫早文化会館において、第2学年の保護者会を開催しました。全体会での講演は、「家庭で取り組む食育」というテーマで県教育委員会の古川恭子先生から、「受験まであと1年。今なすべきことと心構えについて」というテーマで駿台福岡校の田中博明先生をお招きして大変有意義な講演会を実施することができました。

理数科講演会

平成21年12月5日(土)、第3回の理数科講演会を実施しました。講師は九州大学工学部エネルギー科学科の中尾安幸教授で、講演内容は「核融合エネルギー」で、最新のエネルギー研究の一端を講義していただき、大変有意義な研修会となりました。



講演中の中尾安幸教授 講演を聴く生徒

センター試験激励会



センター試験に挑む3年生に激励する石部校長



1月15日(金)、センター試験に挑む3年生(62回生)に対して、全校生徒によるセンター試験激励会を実施しました。

大学入試センター試験



試験の合間にパワーをもらう受験生(長崎大学にて)



1・2年生の後輩に見送られて出発する受験生(正門前にて)

1月16日(土)、62回生303名は、後輩に見送られセンター試験の会場である長崎大学にバス8台で出発しました。



多良岳方向の諫早市街(上)

新しくできた諫早市役所新庁舎の屋上から本校の校舎(左写真中央)と第1体育館を撮影しました。

おもな学校行事

2月

- 2/1(月) 高校入試(推薦)
- 2/4(木) 2年理数科校内発表会
- 2/6(土) 1年・2年対外実力試験
- 2/8(月) 校内マラソン大会
- 2/22(月) 1年・2年学年末考査(~2/27)
- 2/24(水) 代休(2/27分)
- 2/27(土) 卒業式予行・同窓会入会式

3月

- 3/1(月) 第62回卒業式
- 3/6(土) 2年対外実力試験
- 3/16(火) クラスマッチ
- 3/17(水) 生徒総会
- 3/22(月) 文化部合同祭
- 3/24(水) 終業式・離任式

4月

- 4/6(火) 下村博士銅像除幕式・講演会
- 4/8(木) 始業式・入学式
- 4/9(金) 新入生テスト・校内実力(2・3年)
- 4/12(月) 校内実力(3年)
- 4/14(水) 新入生宿泊研修(~4/16)
- 4/16(金) 遠足(2年・3年)
- 4/23(金) 理数科対面式